



PENTARO

平成 27 年 12 月 18 日



～やけどの対応について～

院長 三和 拓人

すっかり寒くなってきました 12 月の年の瀬。この時期に特に多い皮膚疾患が「やけど」です。お湯を使う機会が多かったり、ストーブ含めた暖房器具を使ったりすることで受傷します。そういう意味でも誰しもが受傷する可能性があり、一生のうちで誰もが一度は経験するといっても過言ではない程の頻度の高い疾患だと思います。今回はつい慌ててしまいがちな、やけどを受傷したときの対応をまとめてみました。

やけどを受傷した！スピードが大事です！

まずは冷やす。とにかく 15 分間以上冷やす。やけどは熱い！と思った瞬間に完成しているわけではありません。料理の余熱と一緒に中にもった熱が ジワジワと浸透し深いヤケドに進行します。また冷やし方も部位によって様々です。



<手足のやけどの応急処置>

手足のやけどは、水道水を出しっぱなしにして冷やします。水道代がもったいないかと思うかもしれませんが、その後の通院による費用を考えれば全く安いものですし、何より初期対応が大事です！また氷や氷のうを直接患部にあて続けると、皮膚が冷えすぎて循環障害が起こるので注意してください。冷やしすぎないのがコツという意味で、流水がおすすめです。

<顔や頭のやけどの応急処置>

顔や頭のやけどは、シャワーなどで水をかけ続けます。顔で流水がかけられない部分は、氷水で冷やしたタオルを当てます。

<目や耳のやけどの応急処置>

目や耳のやけどは、氷や氷のうを包んだ冷たいタオルをこまめに替えて冷やします。



<全身または広範囲のやけどの応急処置>

水をためた浴槽の中につけたり、水に浸したタオルなどで体を包んだりします。この際に注意していただきたいことは、服を着たまま入ること。無理に服を脱がすとやけどの部位の皮膚がめくれてくる恐れがあります。このただでさえ寒い時期に、水風呂に入れるなんて！と思いますが、何度も言いますがほんとに初期対応が大事です。根性論ですが、ここを我慢出来れば後の治療が楽になりますし、痕にも残りにくなります。せめて熱傷を受賞していない部分を温めてあげてあげるといいでしょう。

その後...

弊院をはじめとした皮膚科の医療機関を受診してください。弊院では、より重度のやけどの処置から、やけどの傷跡の治療まで、市販のアロエ軟膏やオロナイン軟膏よりよっぽど効果のある様々な治療薬・治療法を用意しております。

今年も大変
お世話になりました!

2015年の振り返り

来年も三和皮フ科を
よろしく願い致します!

1月

三和拓人先生 院長就任!



任せたぞ〜



3月



藤田さん 准看護学校卒業!

4月

5月

美容皮膚科はじめました!

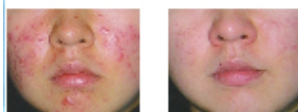
シミ、そばかす、
老人性イボなどの
治療が可能!



テルマトロン(中周波治療器)

ニキビやお顔のくす
み、しわ等に効果的!

治療前 → 治療後



ケミカルピーリング

ヤッター!

院長、41歳のお誕生日☆

8月

理事長、志岐さん
Happy Birthday!



9月

高井紀子先生(理事長の
娘さん)が産婦人科を
開業されました!



大脇さん退職
お疲れ様でした!



11月



安部さん退職
お世話に
なりました!



那加中学生 職場体験

医院: 各務原市那加桜町 2 - 368

Tel 383 - 6800

自宅: 各務原市三井北町 1 - 171

Tel 382 - 1437

三和ゆき後援会事務所 (三和皮フ科北)

Tel 371 - 5558

三和皮フ科HP: <http://miwahifuka.org/>